

共用品推進機構だより 2016年11月25日(33)

目次

(150) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(151) 製品関連記事

▽「先端部が回転し安全歩行／フジホーム」

▽「籐製で軽いベッド 高齢者向け、運びやすく／ワイ・エム・ケー長岡」

(152) サービス関連記事

▽「買い物代行に専任者／ダイエー」

▽「秋田県とセブン 高齢者支援協定 宅配時に安否確認」

(153) 行政関連記事

▽「ハンドル型電動車いす 鉄道乗車ルール緩和／国土交通省」

(154) その他、各種関連記事

▽「弱視の人ら 誤解解消へグッズ」

(155) 新刊紹介

▽『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』

▽『障害者雇用の実務 法令理解から定着支援、戦力化まで』

▽『自閉症スペクトラム障害の子どもの親となったあなたへ
子育ての手引き』

▽『発達障害とどう向き合うか

自閉症、アスペルガー、ADHD…生きづらさは克服できる』

(150) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

・文京ボランティア・市民活動まつり 2016

・国際視覚障害者援護協会で講座

※Facebook にリンクしています。

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

(151) 製品関連記事

▼「先端部が回転し安全歩行／フジホーム」

先端が自由に動くステッキ「かるがもロータリー」。先端部が 360 度回転する仕組み。先端のゴム全体で路面をとらえ、坂道や階段、ぬれた路面も安全に歩行できる。ゴムの交換も簡単。握りやすくすべりにくい独自グリップを採用。伸縮式と折り畳み式 (各 2 柄) がある。本体はアルミニウム。

(日経MJ 11 月 23 日 13 面より抜粋)

▼「籐製で軽いベッド 高齢者向け、運びやすく／ワイ・エム・ケー長岡」

籐 (とう) 家具製造販売のワイ・エム・ケー長岡は移動しやすい高齢者向けのシングルベッドを売り出す。同社従来品より軽く、2 つに切り離して部屋に立てかけておける。籐家具は東南アジアに生育するツル状の植物、ラタンを熱で曲げて骨組みを作り、手作業で編み上げる。販売するベッドは幅が 105cm、長さ 205cm、高さ 38cm。2 つの籐製の台を並べ、テープでつないだ。重さは約 15 キロで従来品より 4 キロ軽い。中央部分で分離すれば移動しやすい。

(日経MJ 11 月 18 日 9 面より抜粋)

(152) サービス関連記事

▼「買い物代行に専任者／ダイエー」

ダイエーは顧客宅への配送を専門に担当する「コンシェルジュ」の配置を始める。利用対象者を60歳以上に限定し、受注は電話かFAXだけで受け付ける。受注から梱包、配送までを同じ担当者が担うことで利用者との個人的な関係を構築し顧客の囲い込みにつなげる。

新サービス「お買物らくらく便」の実験をしてきた東京・板橋の板橋サンゼリゼ店で12月1日、本格運用を始める。毎日午前10時～午後0時半に注文を受け付け、午後2時～5時半に配送する。生鮮品や加工食品、日用品などカタログに記載する約550品目を対象とするが、店舗にある商品については注文に応じてできる限り対応する。

(日経MJ 11月18日9面より抜粋)

▼「秋田県とセブン 高齢者支援協定 宅配時に安否確認」

秋田県とセブン-イレブン・ジャパン、そごう・西武は秋田県内で高齢者の見守り活動などの支援協定を結んだ。

セブンが宅配サービスで独居高齢者の安否を確認するなどの内容となっている。セブンは現在の県内81店舗を2年後に100店舗に増やす計画で、地域社会との連携を強化する。

セブンは弁当1食から届ける宅配サービスなどで異変に気付いた場合、公的機関に連絡する。高齢者を積極的に店舗で雇用することにしており、人手不足を補う。

(日経MJ 11月25日9面より抜粋)

(153) 行政関連記事

▼「ハンドル型電動車いす 鉄道乗車ルール緩和／国土交通省」

ハンドルが付いたタイプの電動車いすについて、国土交通省は鉄道で利用する際のルール見直しに乗り出す。現在は乗車可能な車いすが厳格に定めら

れ、利用者も限られている。鉄道各社を交えた検討会を立ち上げ、より多くの人が利用できるようにするためのルール緩和を検討する。

ハンドル型電動車いすは「シニアカー」とも呼ばれる。操作が比較的簡単とされ、手や指の細かい動作が難しい障害者や高齢者が利用する。

検討会では現状の利用ルールを緩和し乗車可能な利用者を広げる方向で検討する。外国人も乗車できる方法も話し合う。

今年度中に報告をまとめ早ければ来年度にも見直しが実現する見通しだ。
(日本経済新聞 11月18日 42面より抜粋)

(154) その他、各種関連記事

▼「弱視の人ら 誤解解消へグッズ」

白杖を携えて歩くのは全盲の人だけという誤解から筋違いの非難や疑問視をされることがあると、弱視などの視覚障害がある人たちが声を上げ始めた。「白杖＝全盲とは限りません」と書いたストラップや漫画で理解を求めている。

(朝日新聞 11月22日 38面より抜粋)

(155) 新刊紹介

▼『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』

ストライクなどの審判のジェスチャーやチーム内のサインを考案した、聴覚障がいをもつメジャーリーガー、ウィリアム・ホイの伝記。少年時代からメジャーリーグで活躍するまでを描く。

絵：ジェズ・ツヤ

文：ナンシー・チャーニン

発行：光村教育図書

本体価格：1400円（税別）

ISBN：978-4-89572-899-7

▼『障害者雇用の実務 法令理解から定着支援、戦力化まで』

障害者の採用・雇用管理など、あらゆる企業における実務上の留意点、精神障害者雇用に向けて必須となる対応上の知識について説明するとともに、Q & A形式の法律解説、精神障害者雇用の先進3事例なども掲載する。

編：労務行政研究所

発行：労務行政

本体価格：3650 円（税別）

ISBN：978-4-8452-6351-6

▼『自閉症スペクトラム障害の子どもの親となったあなたへ
子育ての手引き』

自閉症スペクトラム障害のある子どもをもつ保護者向けのガイドブック。家庭における環境調整、学校との連携のあり方などを、豊富な実践経験から解説。「先輩」保護者の生の声も紹介する。

著：リン・アダムズ

訳：川合紀宗（かわい・のりむね）

発行：北大路書房

本体価格：2300 円（税別）

ISBN：978-4-7628-2953-6

▼『発達障害とどう向き合うか

自閉症、アスペルガー、ADHD…生きづらさは克服できる』

グレーゾーンも含めた発達障害は10人に1人。人気カウンセラーが、「おねしょ」「性器いじり」「被害者意識が強い」といった子どもと大人の事例を取りあげ、症状を軽減し、豊かな社会生活を可能にするための方法を語る。

著：吉濱ツトム（よしはま・つとむ）

発行：実務教育出版

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-7889-1038-6

来週 11 月 28 日からアイルランドのダブリンに出張します。

JISC（工業標準化全般に関する調査・審議を行う日本工業標準調査会）と CEN/CENELEC（欧州標準化団体）との情報交換会が毎年開催されていますが、その下部組織としていくつかの WG（作業グループ）が設立されています。この WG の一つにアクセシビリティに関する WG があります。今まで 3 回会議を開催しており、日本側から ISO に提案する規格の賛成投票、専門家の積極的参加などを依頼しており、効果をあげています。この第 4 回会議が 11 月 30 日に、アイルランド規格協会で開催されることになりましたので、これに参加します。

この会議の中で、今後提案予定の規格案を説明して、協力を求めることとなります。（松岡光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>